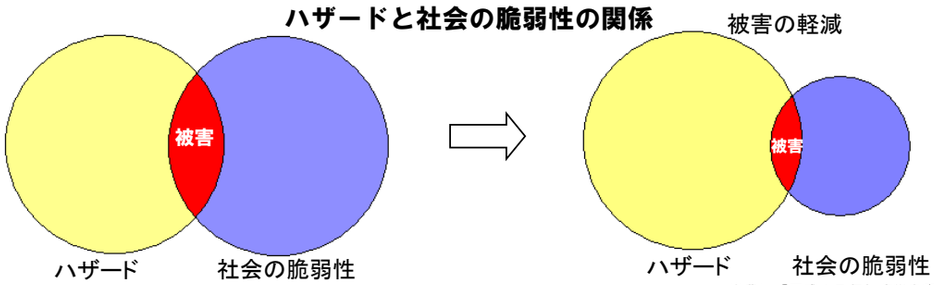
第１章　はじめに

ハザードと社会の脆弱性の関係



出典）「平成１７年版防災白書」内閣府

【ハザード（外力）】
○自然現象
・地震
・豪雨
・津波、高潮
・大雪
・噴火　等
○社会的要因
・犯罪
・事故　等

×

【脆弱性（社会の弱さ）】
○都市構造
・密集市街地の存在
・ｵｰﾌﾟﾝｽﾍﾟｰｽの不足
・耐震性の不足
・氾濫原の市街化
・排水能力の不足
・無秩序な地下利用　等
○社会構造
・高齢化
・近隣関係の希薄化　等

＝

【被害】
○人的被害（生命、身体、精神）
○物的被害
・建物（住宅、事務所、工場、学校・病院等の公的施設等）
・交通施設（道路、鉄道、港湾空港等）
・供給処理施設（電気、ガス、上水道、下水道）
・情報通信施設

都市活動を支える機能への影響

経済活動の停滞
生産の停止　　等

都市の持つ脆弱性を減少させることが必要